

## 医学部学生が研修病院を選択時に重視している項目 新臨床研修制度開始後3年間の傾向

青木昭子, 古川政樹, 後藤英司

横浜市立大学臨床研修センター

**要 旨:** 新臨床研修制度開始にあたり, 平成15~17年11月に, 研修病院が内定した医学部6年生を対象に, 卒業後の研修病院, 研修病院を選択する際に重視した項目, 横浜市大病院の研修システムへの要望についてアンケート調査した. 結果: 横浜市大病院での研修を選択した卒業生は約40%であった. 研修病院を選択で重視した項目としては, いずれの年も「研修プログラム」, 「指導医の臨床能力」といった研修の内容に関わる項目が高率であった. 「救急研修の充実」はH16, H17年ともに50%弱の学生が選択していた. 「病院の所在地」, 「通勤の利便性」といった地理的条件も20~60%の高率で選ばれていた. H17年は53%の学生が「給与・待遇」を重視すると回答した. 「宿舎」を重要と考える学生も49%と高率であった. 考察: 研修病院の選択にあたって研修プログラムの質と待遇の2点が重視されている. 横浜市大病院の処遇は大学病院として平均的であるが, 宿舎がなく研修医の経済的環境は厳しい. 学生に選ばれる研修病院になるためには宿舎を含めた待遇の改善が必要である.

**Key words:** 日英, 新臨床研修制度, 研修プログラム, マッチング制度, 医学部学生  
residency system, residency program, matching system, medical student

---